

てらしま みかよ
寺島 美香代さん(41歳)

営農地:福津市
主な農産物:ブロッコリー、キャベツ、
米、麦、大豆



夫婦で話し合い“子育て優先”農業

● 就農のきっかけ

私は農業をしないと思っていました

「サラリーマンだった夫が、『東京転勤がいい?それとも仕事辞めて実家で農業する?』と聞いてきて、私は、『東京もいかなあ…』って答えました。でも、すでに夫は辞表を提出した後で、私に選択肢はありませんでした。私はどちらでもよかったです、ついてただけ。私は農業しないと思っていました。」と笑顔で答える寺島さん。結婚して5年、サラリーマンの妻として、鹿児島県で子育て中心の生活を送っていた中で、突然の出来事だったそうです。

● これからの夢、目標

“地域の憩いの場”をつくりたい

「福津市では、年に2回、女性農業者の研修会が開催されています。頑張っている女性農業者のお話は、とても参考になります。今、私の考えている目標は、“地域の憩いの場”を作ることです。まずは、今の経営を頑張らなくてはなりませんので、まだ先の話になりますが、地域の人びとが、周囲に気兼ねなく集まれる場所です。例えば、子育て中のお母さんが、子どもが騒いでも気にせず食事ができる場所なんかを考えています。50歳代のうちに実現したいなと思っています。」と語って下さいました。

● 私の今～就農後の道のり～

“子育て優先”は夫婦の考え

福津市に移り住んできた寺島さん、“一日中夫婦一緒”の生活が始まりました。夫婦で子どものこと、家のこと、農業経営のこと…いろいろなことを一日中話し合っているうちに、自然に農業を手伝い始めたそうです。今では、農業機械も乗りこなし、ほとんどの作業を夫婦一緒に行い、地域農業の担い手として、生産面・経営面でも活躍しています。

農業を始めて9年目、寺島さんご夫婦はご家族で話し合い、更なる規模拡大や従業員の雇用環境整備を図るため、平成24年7月、「株式会社みずほファーム」を発足させました。「サラリーマンとして働いていたので、雇われた人の気持ちがわかります。農業も、きちんと従業員を評価し、気持ちよく働ける職場環境を作る必要があると思います。私たち夫婦は“子育て優先”という考えを持っています。子どもたちが帰ってくる時間には仕事を中断し、習い事などの送迎を夫婦で時間調整してやっています。子どもの行事等は夫婦で出席します。農業は一年中仕事があるので、忙しいと言っていたらキリがありません。仕事を休むときは、とにかく頑張る仕事を調整して時間を作り、“子育て優先”で動きます。家族旅行や里帰りもしますよ。思い立ったら実行です。」と話されました。



プロフィール

- 家族構成 / 本人、夫、子3人、義父、義母
- 営農年数 / 約9年
- 耕作(経営)面積 / 52.8(29)ha
- 販路 / JA共販

就農を考えている女性へ ♡

私は、夫が農家でしたので、就農のアドバイスはできませんが、農業は、夫婦で話し合い、理解し合えば、楽しい職業だと思います。私の場合、農作業は苦になりませんでした。今は、目標に向かって今の経営を頑張っています。